

2010年4月21日

報道関係各位

災害対応支援ロボット **Quince** 開発に関するプレス発表のご案内

NPO 法人国際レスキューシステム研究機構 会長 田所 諭  
千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長 小柳栄次  
東北大学 大学院情報科学研究科 教授 田所 諭

国際レスキューシステム研究機構、千葉工業大学、東北大学を中心とするグループは、地下街や高層ビルにおける危険物質漏洩や化学剤によるテロなど CBRNE 災害の際に、救助活動のための情報収集を行う「災害対応支援ロボット **Quince** (クインス)」を開発いたしました。NEDO 戦略先端ロボット要素技術開発プロジェクトの一貫として、2006 年度より研究開発を行って来た成果です。災害が発生し危険性が高い地下街を、遠隔操縦により高速走行し、要救助者の位置の特定や状態の検査、災害状況の情報収集を行います。

**Quince** は、階段や瓦礫などを含む災害空間における高い走行性能、災害空間での活動や汚染物質除去に不可欠な防塵防水、予期せぬ落下時でも機能を持続できる耐久性、を有しています。搭載カメラによる映像や音声に加え、物体や空間の 3 次元形状を計測する機能を持ち、複数台の **Quince** からの情報を統合して記録することが可能です。操縦を容易にするため、走行路の空間の 3 次元形状を表示したり、階段や瓦礫上を自動走行する支援機能、を有しています。基本機能とオプション機能を分けることによって、災害現場の状況に応じた構成を取ることが可能であり、走破性能や低床性が重視される現場と、高度なセンシングを必要とする現場の両方に対応することができます。

これまでに開発してきたさまざまな機能を順次搭載していき、全国の消防との協力の下、今年度末には実戦配備を可能にする計画です。また、性能試験のためにロボカップ世界大会（シンガポール、6 月 19 日～25 日）のレスキューロボット部門に出場し、NIST/ASTM 災害対応ロボット訓練大会（米国テキサス州 Disaster City、会期末定）で米国災害対応庁（FEMA）隊員による評価を行う予定です。

以上の件につきまして、下記のようにプレス発表会を開催いたしますので、ご案内いたします。

記

日時：2010年4月28日（水）11：00～

場所：千葉工業大学 芝園キャンパス 11号館3階

内容：災害対応支援ロボット **Quince** 開発の説明、デモンストレーション、質疑応答

問い合わせ先：

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター 室長 先川原（さきがわら）

TEL 047-478-0567 FAX 047-478-0568 E-mail saki@furo.org

\* お手数ですが準備の都合上、ご出欠の可否を千葉工業大学未来ロボット技術研究センター（FAX：047-478-0568）までご返信いただければ幸甚に存じます。

## Quince 開発に関するプレス発表のご案内

### 出欠連絡 FAX 用紙

FAX 番号:047-478-0568

### Quince 開発に関するプレス発表に

ご出席

ご欠席

(該当する□内にレ印をつけてください)

◎ 貴社名 \_\_\_\_\_

◎ ご所属 \_\_\_\_\_

◎ 媒体名 \_\_\_\_\_

◎ ご芳名 \_\_\_\_\_

◎ 放送予定日・掲載予定日（号） \_\_\_\_\_

◎ ご連絡先 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_